

加瀬みきの ワシントン発 グローバル随想

エキセントリックな 人たち



イラスト・題字：長峯亜里

第22回

飛躍的な進歩や国の存続を担う

いつの時代にも天才や神童がいる。しかし希少な「エキセントリック」は人類の行方を左右する。「エキセントリック」とはどんな人物だろう。型破り、常軌を逸したとの形容詞、あるいはそうした人物を意味する名詞だが、eccentric とは center を逸脱した、つまり共有できる中心的価値観をもたないということでもある。社会の常識や他人との共感に欠けるが、強い思い込みが飛躍的な進歩をもたらしたり国を救うこともある。

イーロン・マスク

現代の「エキセントリック」の代表はイーロン・マスクだろう。衛星インターネットサービスをもたらすスターリンク、アメリカ航空宇宙局(NASA)も有人飛行を依存する航空宇宙会社スペースX、電気自動車会社テスラは全てマスクの申し子だ。チャットGPTを生んだOpenAIの共同出資者、X(元ツイッター)を決済サービスなども行えるスーパーアプリに変身させようとしている。

コンピューターの活用や起業家へのスタートは、12歳でゲームをプログラミングし雑誌に売ったのが始まりであった。スタンフォード大学の博士課程中退後にオンラインの都市ガイドシステムを制作し、創設したオンライン銀行は

ペイパルとなり、その最高責任者になった。

フォーブス誌の2023年長者番付ランキング2位の資産家で、世界一長距離を飛べる家用飛行機やフェラーリなど高級車を所有するが、一方、約4年前に持ち家7件を総額1.28億ドルで売却し、現在は借家に住んでいる。

このマスク氏の最重要計画は地球に人類が住めなくなった時のために火星に都市を建設することであり、スペースXやスターリンク、そして持ち家を売却し資金を得たのもこのプロジェクトのためとされる。幼少期、いじめや親からの虐待に苦しんだマスク氏は承認欲求が強く、人への思いやりも共感力もないらしい。間違いなく型破りのエキセントリックだが、その独創的先見性は技術の進歩、何よりも新分野の開拓や発想の転換をもたらしているのは間違いない。

ウィンストン・チャーチル

英国にはエキセントリックといわれる政治家がいるが、なんととっても有名なのがウィンストン・チャーチルである。英国をヒトラーから守った首相でエリザベス女王が国葬を許可したほどの国家的英雄である。英国議会も国民もヒトラーの脅威を認知しない中、一議員として軍備増強を訴え、融和政策が失敗すると首相に任命された。葉巻をくゆらせ、朝からウイスキーをちびりちびりと飲み、長時間湯船につかりそ